

自動運転実証調査事業について

1 自動運転実証調査の導入経緯について

本市のこまき巡回バス「こまくる」につきましては、市内 23 路線を 17 台のバスで運行し、市民の日常生活の足を支えています。今後の乗合バスの乗務員不足の対策の一つとして、日進月歩で技術開発が進む自動運転について、本市として、早急に情報収集、分析、検討などを行い、導入の検証を進める必要があります。

このため、自動運転を導入した車両を実地で運行し実証調査を行うことが補助対象となる、国土交通省所管の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の交付を受けるため、本年 7 月に応募したところ、9 月 4 日に補助金の内定があったことから、令和 5 年第 3 回定例会において事業費の補正予算案を提出し、9 月 14 日に議決をされました。

実証調査のスケジュールにつきましては、9 月から 11 月にかけて自動運転実証調査事業支援業務委託プロポーザル審査委員会において業者選定を行うとともに、公安委員会や道路管理者などとの関係機関協議を進め、業者決定後の 12 月から来年 2 月にかけて、自動運転の車両が走行するルート of 3D マップの作成や新たなバス停の設置など準備業務を行います。

また、来年 3 月上旬に国へ実証調査結果を報告する必要があることから、自動運転の車両が走行する実証調査の期間は、2 月中旬から下旬にかけて 2 週間程度を想定しております。

なお、実証調査のルートにつきましては、本市の中心市街地における観光振興やまちづくりへの有効性などに関しても検証したいと考えているため、「小牧駅」から小牧山「れきしるこまき」間を予定していますが、今後、実証調査の事業者や関係機関等と協議を行い、路線バスや一般車の交通への影響を踏まえて、ルート・ダイヤなどを決定したいと考えています。

《実証調査ルートイメージ》

